

科目名	ヴォーカルⅣ							年度	2025
英語科目名	Vocal Ⅳ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	前田祐佳		教員の実務経験	有	実務経験の職種		声楽講師		

【科目の目的】

卒業後の活動を見据えて、オーディションなどで対応できるよう、個別に実践的な指導を行いながら、歌唱・表現・見せ方を身に付けることを目的としている。また、個人で声や体の調整ができる方法を学ぶ。

【科目の概要】

楽譜を理解するために、音符・リズムなどの基礎的な音楽の知識を学習しながら、様々な楽曲を取り入れて、歌唱するための姿勢・発声・呼吸法・表現などのスキルを身に付けるための授業を行う。毎回、ストレッチ・発声を行った後に、課題曲の練習に入る。

【到達目標】

授業で取り上げた楽曲に関しては、全て暗譜で歌唱すること。その際に、音符・歌詞を覚えるだけでなく、呼吸・表現なども同時に体に覚えこませること。本番を想定し、授業内で発表すること。

【授業の注意点】

体を使って声を出すことを学ぶため、動きやすい服装で授業に臨むこと。また、個別指導の時間を設けるため、待ち時間を静かに有効に使えるよう各々工夫すること。授業中の私語や受講態度等には厳しく対応する。社会への移行、実践で活かすことに留意し、課題の予習復習と体調管理の継続性を意識した態度で参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。

評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	腹式呼吸を意識し、安定した発声ができる。高低差、強弱、速度を自在に操り、幅広い表現が可能。	腹式呼吸を意識し、安定した発声ができる。高低差、強弱、速度をある程度操ることができる。	腹式呼吸はできるが、安定した発声は難しい。高低差、強弱、速度の調整が不十分。	腹式呼吸ができていない。声量や音質に課題がある。	発声の基本的な知識が不足している。
到達目標 B	言葉の詰まりや早口がなく、聞き取りやすい発音ができている。	言葉の詰まりはほとんどなく、聞き取りやすい発音ができている。	言葉の詰まりがやや見られる。一部の言葉が聞き取りにくい。	言葉の詰まりが多く、聞き取りにくい部分がある。	基本的な発音ができている。
到達目標 C	広い音域で、安定した高低差を表現できる。	ある程度の範囲で高低差を表現できる。	高音や低音が出にくい、または不安定。	高音や低音の高低差が少なく、表現の幅が狭い。	高音や低音の高低差を表現できない。
到達目標 D	言葉の強弱を効果的に使い分け、感情を表現できる	言葉の強弱をある程度使い分けられることができる。	言葉の強弱を理解しているが、感情表現が乏しい。	言葉の強弱が単調で感情表現が乏しい。	言葉の強弱をつけることができない。

到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い
-----------	-----------	--------------	-----------	----------	-------------

【教科書】
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ヴォーカルIV			年度	2025
英語表記		Vocal IV			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	夏休中の課題についての確認	個別指導	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る		
			夏休み中の課題を個別指導	課題曲の修正		
2	発声・歌唱・表現	グループでの歌唱	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る		
			数人での歌唱とちびソロ	グループ歌唱の実践		
			「民衆の歌」「朝の風景」	「民衆の歌」「朝の風景」を理解し歌唱		
3	発声・歌唱・表現	グループでの歌唱における表現	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る		
			数人での歌唱とちびソロ	グループ歌唱の実践		
			「民衆の歌」「朝の風景」	「民衆の歌」「朝の風景」を理解し歌唱		
4	発声・歌唱・表現	グループ発表	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る		
			グループごとの発表と個別指導	グループ歌唱の実践		
			「民衆の歌」「朝の風景」	「民衆の歌」「朝の風景」を理解し歌唱		
5	発声・歌唱・表現	言葉を大切に歌唱し表現する	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る		
			1曲を自身で構成して表現する	歌唱曲の構成を表現		
			「糸」「君をのせて」	「糸」「君をのせて」を理解し歌唱		
6	発声・歌唱・表現	個別指導	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る		
			個別指導	歌唱指導を受けて修正		
			「糸」「君をのせて」	「糸」「君をのせて」を理解し歌唱		
7	発声・歌唱・表現	発表会にむけて	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る		
			発表会にむけて個別指導	個別指導を受けて修正		

8	発声・歌唱・表現	発表会にむけて	ストレッチ・発声・リズム	ストレッチ、発声の理解・実践、歌唱のためのリズムを取る
			発表会にむけて個別指導	個別指導を受けて修正
9	発表会	各々の練習した成果を発表する	本番を想定し事前準備する	本番を想定した事前準備
			発表	本番発表
10	発表会の振り返り	発表会を振り返り今後の課題を見つける	課題をクリアするための助言	歌唱における課題解決能力
11				
12				
13				
14				
15				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等